

平成25年度第2回市政モニターアンケート結果

テーマ「農業施策と地産地消の推進」について

アンケート実施概要

- (1) 対象 市政モニター 150人
- (2) 回答者数 140人
- (3) 実施期間 平成25年10月4日から10月18日まで
- (4) 目的 相模原市では、地域農業の振興を図るため、農業まつりや市民朝市の開催など地産地消の推進や、市民農園の開設、直売所整備の促進などに取り組んでまいりました。

近年、新鮮で安全な食材として、市内産の農産物を求めるニーズの増大や、農業へのふれあい志向の高まりなど、都市における農業の役割は年々重要なものになっております。

一方で、担い手不足や高齢化、耕作放棄地の問題など、市内の農業を取り巻く諸課題に取り組んでいく必要があります。

皆様からの意見を基に、今後、さらなる農業振興の推進に取り組むため、アンケートにご協力いただきました。

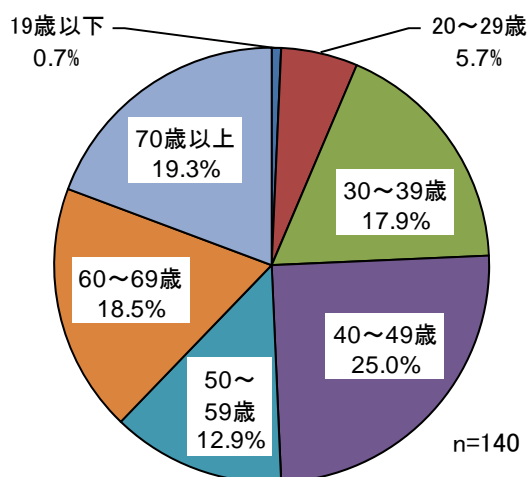
各設問と回答状況及び結果概要

【基本的項目についてお伺いします】

問1 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
1	1	0.7%
2	8	5.7%
3	25	17.9%
4	35	25.0%
5	18	12.9%
6	26	18.5%
7	27	19.3%
合計	140	100.0%

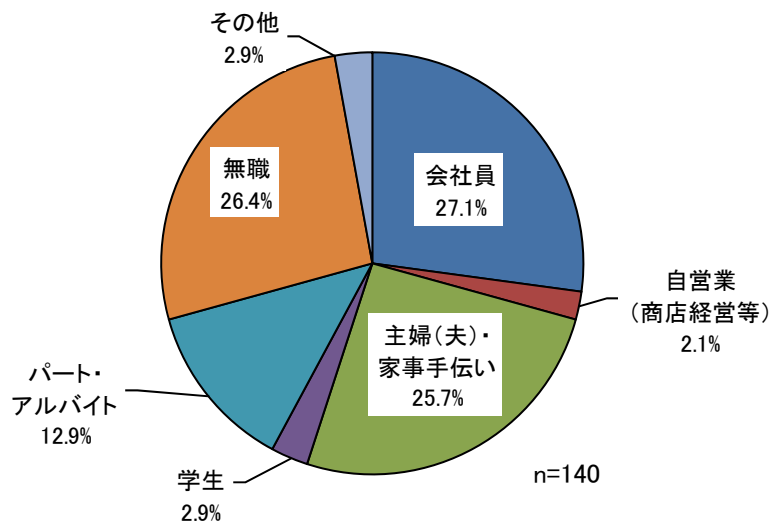


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問4 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 会社員	4 学生	7 その他
2 自営業 (商店経営等)	5 パート・アルバイト	
3 主婦 (夫)・家事手伝い	6 無職	

選択肢	回答数	回答分布
1	38	27.1%
2	3	2.1%
3	36	25.7%
4	4	2.9%
5	18	12.9%
6	37	26.4%
7	4	2.9%
合計	140	100.0%

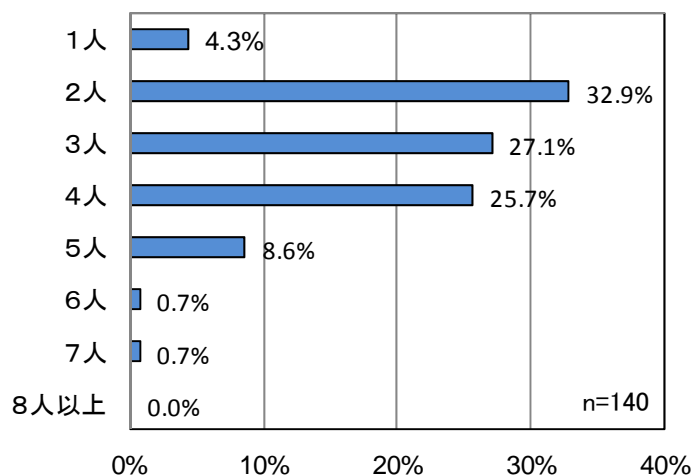


☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

問5 あなたの世帯の人数をお伺いします。(回答は1つ)

1 1人	4 4人	7 7人
2 2人	5 5人	8 8人以上
3 3人	6 6人	

選択肢	回答数	回答分布
1	6	4.3%
2	46	32.9%
3	38	27.1%
4	36	25.7%
5	12	8.6%
6	1	0.7%
7	1	0.7%
8	0	0.0%
合計	140	100.0%



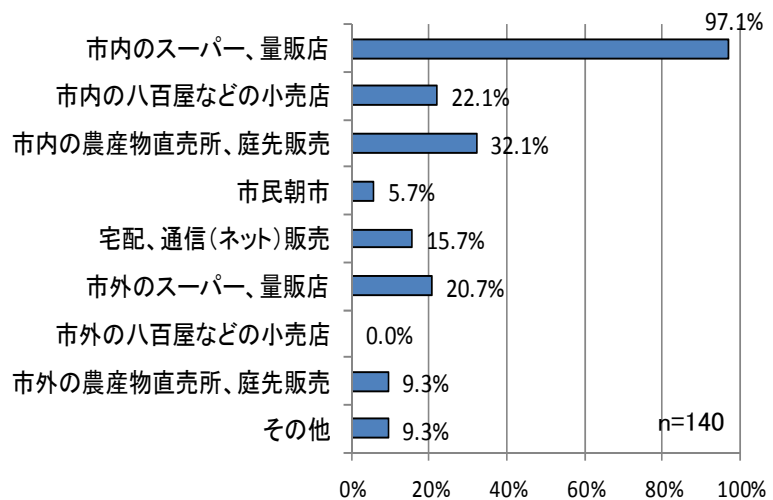
☆ 回答された方の世帯の人数は以上のとおりです。

【農業施策と地産地消の推進についてお伺いします】

問6 あなたは日頃、野菜などの農産物をどこで購入しますか。(回答は3つまで)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 市内のスーパー、量販店 | 6 市外のスーパー、量販店 |
| 2 市内の八百屋などの小売店 | 7 市外の八百屋などの小売店 |
| 3 市内の農産物直売所、庭先販売 | 8 市外の農産物直売所、庭先販売 |
| 4 市民朝市 | 9 その他 |
| 5 宅配、通信(ネット)販売 | |

選択肢	回答数	回答分布
1	136	97.1%
2	31	22.1%
3	45	32.1%
4	8	5.7%
5	22	15.7%
6	29	20.7%
7	0	0.0%
8	13	9.3%
9	13	9.3%



☆ 野菜などの農産物を購入する場所の上位3項目は、「市内のスーパー、量販店」が97.1%で最も多く、次いで「市内の農産物直売所、庭先販売」が32.1%、「市内の八百屋などの小売店」が22.1%という結果となりました。

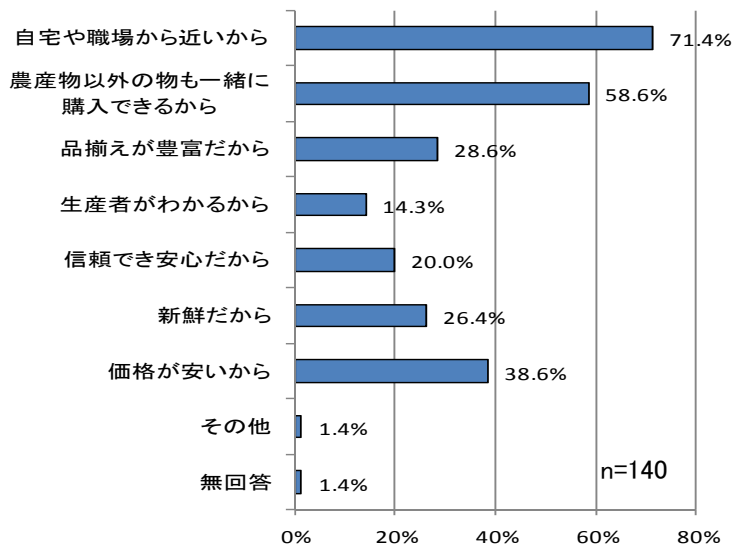
問6 「9 その他」記入欄意見 抜粋

- デパート、コンビニエンスストア、生協、道の駅。
- 家庭菜園、市民農園で賄っている。
- 農家から分けてもらっている。
- 社員食堂で喫食するのであまり購入しない。

問7 あなたが、問6でお答えしたお店等で農産物を購入する理由は何ですか。(回答は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1 自宅や職場から近いから | 5 信頼でき安心だから |
| 2 農産物以外の物も一緒に購入できるから | 6 新鮮だから |
| 3 品揃えが豊富だから | 7 価格が安いから |
| 4 生産者がわかるから | 8 その他 |

選択肢	回答数	回答分布
1	100	71.4%
2	82	58.6%
3	40	28.6%
4	20	14.3%
5	28	20.0%
6	37	26.4%
7	54	38.6%
8	2	1.4%
無回答	2	1.4%



☆ 問6でお答えしたお店等で農産物を購入する理由の上位3項目は、「自宅や職場から近いから」が71.4%で最も多く、次いで「農産物以外の物も一緒に購入できるから」が58.6%、「価格が安いから」が38.6%という結果となりました。

問7 「8 その他」記入欄意見

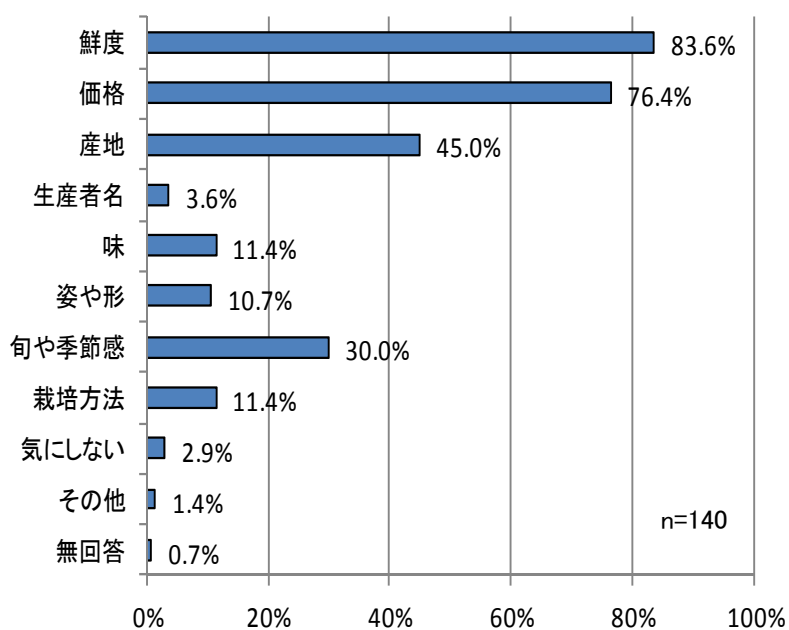
- ポイントカードを利用するため。
- 近隣に農産物販売所が無いため。

問8 あなたは、農産物を購入するとき、どのようなことを基準として、商品を選びますか。

(回答は3つまで)

1 鮮度	4 生産者名	7 旬や季節感	10 その他
2 価格	5 味	8 栽培方法 (有機・無農薬)	
3 産地	6 姿や形	9 気にしない	

選択肢	回答数	回答分布
1	117	83.6%
2	107	76.4%
3	63	45.0%
4	5	3.6%
5	16	11.4%
6	15	10.7%
7	42	30.0%
8	16	11.4%
9	4	2.9%
10	2	1.4%
無回答	1	0.7%



☆ 農産物を購入するとき、商品を選ぶ基準の上位3項目は、「鮮度」が83.6%で最も多く、次いで「価格」が76.4%、「産地」が45.0%という結果となりました。

問8 「10 その他」記入欄意見 抜粋

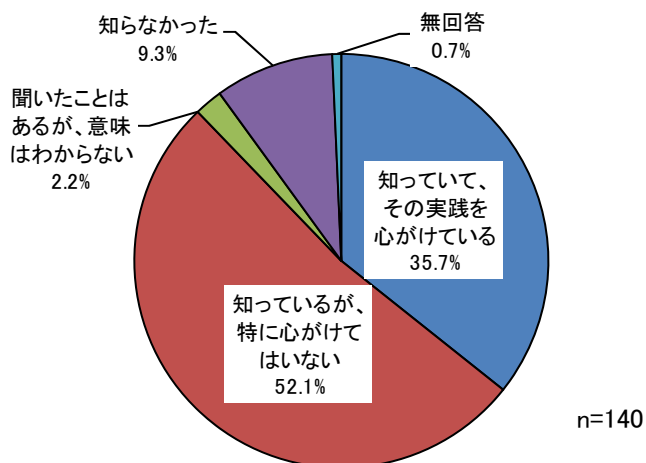
- 放射能の影響が少ない産地。
- 量の多さ。

問11 あなたは、「地産地消(地域で採れたものを地域で消費する)」という言葉の意味をご存知ですか。

(回答は1つ)

- 1 知っていて、その実践を心がけている 3 聞いたことはあるが、意味はわからない
 2 知っているが、特に心がけてはいない 4 知らなかった

選択肢	回答数	回答分布
1	50	35.7%
2	73	52.1%
3	3	2.2%
4	13	9.3%
無回答	1	0.7%
計	140	100.0%

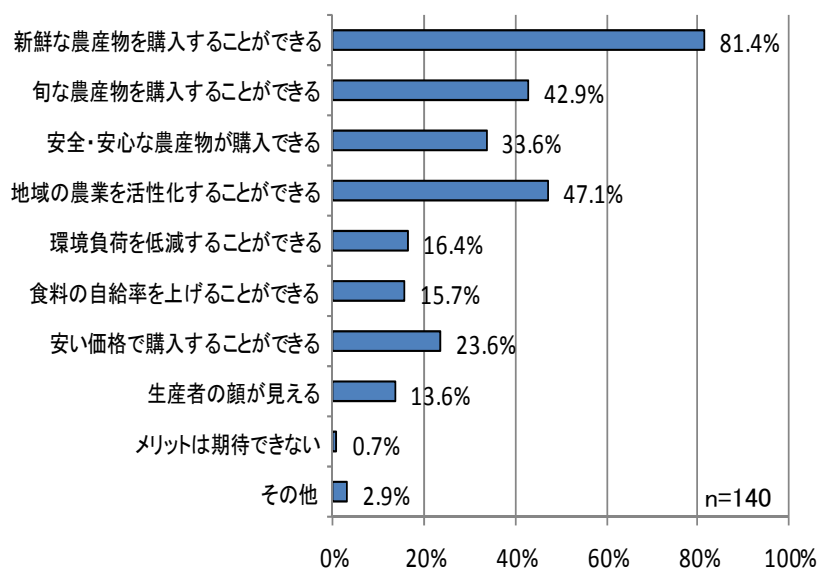


☆ 「地産地消」の言葉の意味について、「知っていて、その実践を心がけている」(35.7%)と、「知っているが、特に心がけてはいない」(52.1%)を合わせた「言葉の意味を知っている人」が全体の9割近く(87.8%)を占める結果となりました。

問12 あなたは、「地産地消」の推進によって、どのようなメリットを期待しますか。(回答は3つまで)

- 1 新鮮な農産物を購入することができる
- 2 旬な農産物を購入することができる
- 3 安全・安心な農産物が購入できる
- 4 地域の農業を活性化することができる
- 5 環境負荷（生産物の輸送など）を低減することができる
- 6 食料の自給率を上げることができる
- 7 安い価格で購入することができる
- 8 生産者の顔が見える
- 9 メリットは期待できない
- 10 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	114	81.4%
2	60	42.9%
3	47	33.6%
4	66	47.1%
5	23	16.4%
6	22	15.7%
7	33	23.6%
8	19	13.6%
9	1	0.7%
10	4	2.9%



☆ 「地産地消」の推進によって、どのようなメリットを期待するかの上位3項目は、「新鮮な農産物を購入することができる」が81.4%で最も多く、次いで「地域の農業を活性化することができる」が47.1%、「旬な農産物を購入することができる」が42.9%という結果となりました。

問12 「10 その他」記入欄意見 抜粋

- 生活を営んでいる土地の物を食する事ができ、健康を維持できる。
- 生産者の顔が見え、安心できる。

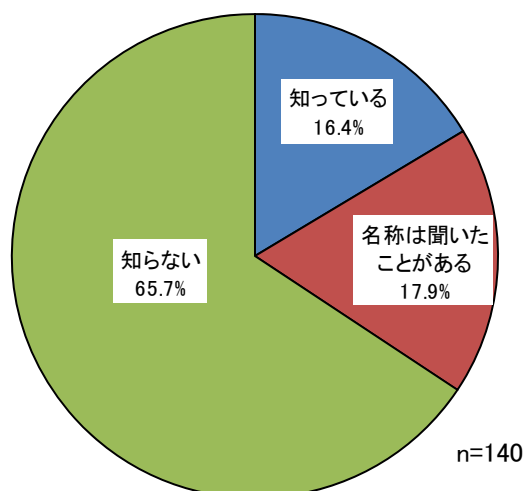
問13 市では、さがみはら農産物ブランド協議会と連携し、市内産農産物を「さがみはらのめぐみ」と総称し、地産地消を推進しています。

あなたは、「さがみはらのめぐみ」という名称をご存知ですか。(回答は1つ)

- 1 知っている 2 名称は聞いたことがある 3 知らない



選択肢	回答数	回答分布
1	23	16.4%
2	25	17.9%
3	92	65.7%
計	140	100.0%

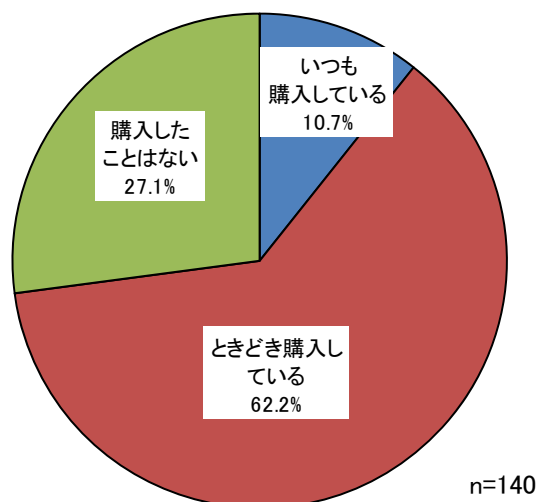


☆ 「さがみはらのめぐみ」の名称について、「知っている」が16.4%、「名称は聞いたことがある」が17.9%、「知らない」が65.7%という結果となりました。

問14 あなたは、市内産の農産物を購入したことがありますか。(回答は1つ)

- 1 いつも購入している (→問14-1へ)
 2 ときどき購入している (→問14-1へ)
 3 購入したことはない (→問14-2へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	15	10.7%
2	87	62.2%
3	38	27.1%
計	140	100.0%

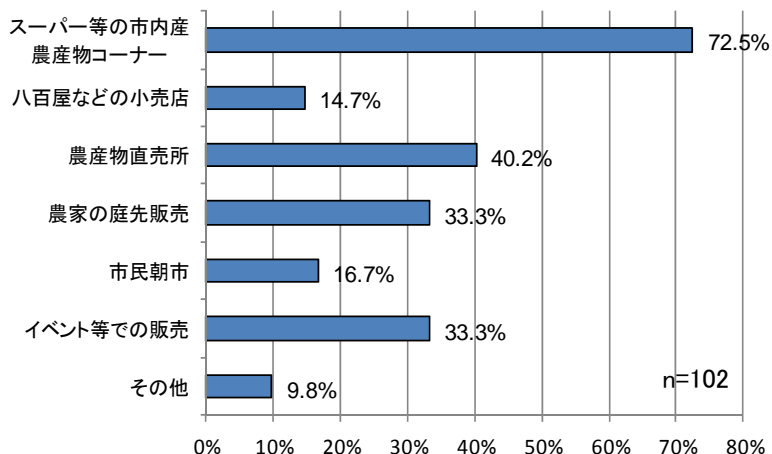


☆ 市内産の農産物の購入について、「いつも購入している」(10.7%)と、「ときどき購入している」(62.2%)を合わせた「購入したことがある人」が、全体の7割以上(72.9%)を占める結果となりました。

問14-1 問14で「1 いつも購入している」、「2 ときどき購入している」とお答えの方にお伺いします。
 あなたは、それはどこで購入されましたか。(回答はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 スーパー等の市内産農産物コーナー | 5 市民朝市 |
| 2 八百屋などの小売店 | 6 イベント等での販売 |
| 3 農産物直売所 | 7 その他 |
| 4 農家の庭先販売 | |

選択肢	回答数	回答分布
1	74	72.5%
2	15	14.7%
3	41	40.2%
4	34	33.3%
5	17	16.7%
6	34	33.3%
7	10	9.8%



☆ 市内産農産物を購入する場所の上位3項目は、「スーパー等の市内産農産物コーナー」が72.5%で最も多く、次いで「農産物直売所」が40.2%、「農家の庭先」、「イベント等での販売」が33.3%で同数という結果となりました。

問14-1 「7 その他」記入欄意見 抜粋

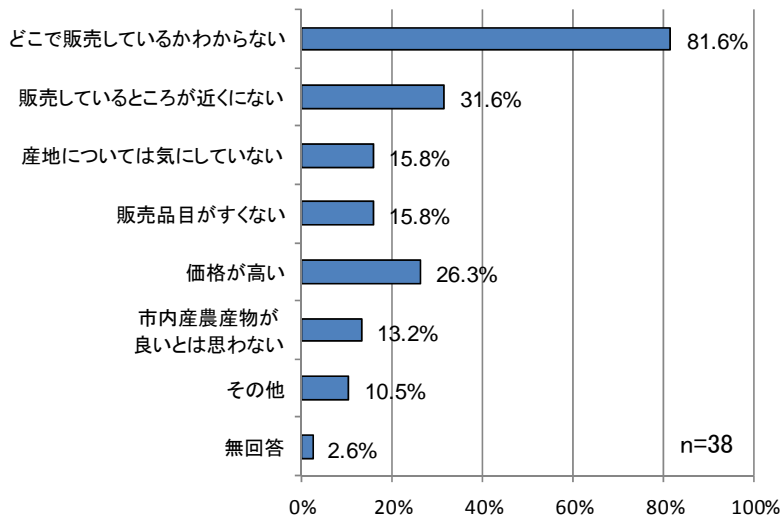
- コンビニ、市農協、生協
- インターネット
- 宅配

問14-2 問14で「3 購入したことはない」とお答えの方にお伺いします。

あなたが、購入しない理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 どこで販売しているかわからない | 5 価格が高い |
| 2 販売しているところが近くにない | 6 市内産農産物が良いとは思わない |
| 3 産地については気にしていない | 7 その他 |
| 4 販売品目がすくない | |

選択肢	回答数	回答分布
1	31	81.6%
2	12	31.6%
3	6	15.8%
4	6	15.8%
5	10	26.3%
6	5	13.2%
7	4	10.5%
無回答	1	2.6%



☆ 市内産農産物を購入しない理由の上位3項目は、「どこで販売しているかわからない」が81.6%で最も多く、次いで「販売しているところが近くにない」が31.6%、「価格が高い」が26.3%という結果となりました。

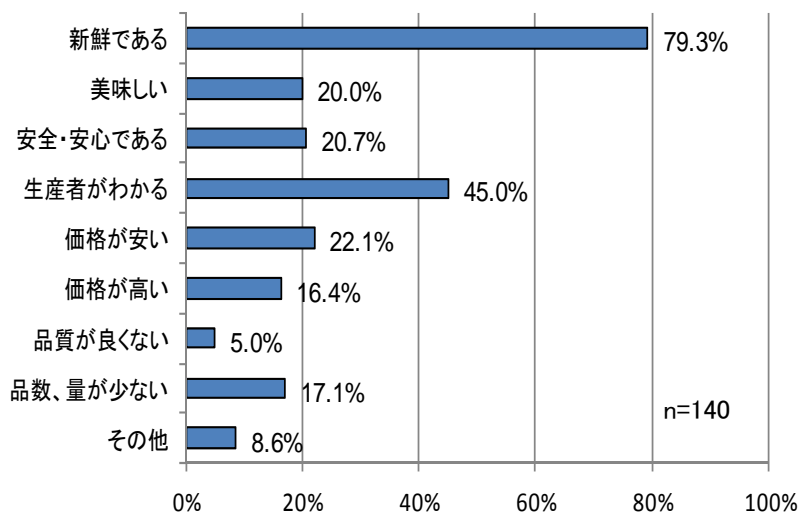
問14-2 「7 その他」記入欄意見 抜粋

- PR不足。
- 市内産の農産物にこういったものがあるのか知らない。

問15 あなたは、市内産の農産物について、どのような印象を持っていますか。(回答は3つまで)

- | | |
|------------|------------|
| 1 新鮮である | 6 価格が高い |
| 2 美味しい | 7 品質が良くない |
| 3 安全・安心である | 8 品数、量が少ない |
| 4 生産者がわかる | 9 その他 |
| 5 価格が安い | |

選択肢	回答数	回答分布
1	111	79.3%
2	28	20.0%
3	49	20.7%
4	63	45.0%
5	31	22.1%
6	23	16.4%
7	7	5.0%
8	24	17.1%
9	12	8.6%



☆ 市内産農産物の印象についての上位3項目は、「新鮮である」が79.3%で最も多く、次いで「生産者がわかる」が45.0%、「価格が安い」が22.1%という結果となりました。

問15 「9 その他」記入欄意見 抜粋

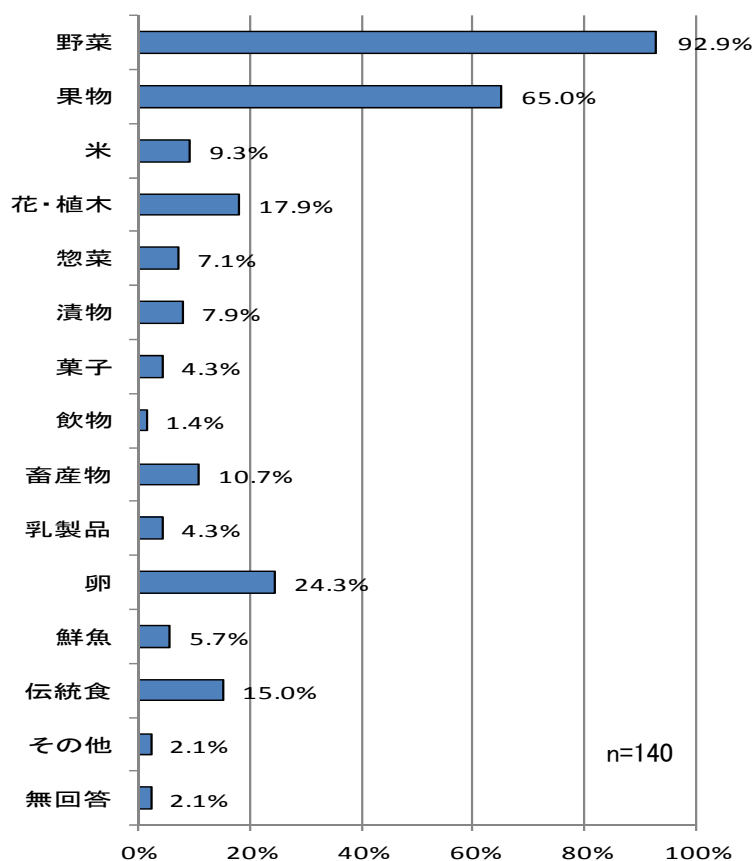
- 市内産がゆえに安い・新鮮とは限らない。従って、印象も薄い。
- 特産品（やまと芋）を市外の人へのお土産としている。
- 農薬等の表示がない場合があり、心配。
- 相模原市で何を作って、売っているかわからない。もっとPRしてほしい。
- 地元の農家が作られた野菜は、安くてやわらかいので、老人にとって食べやすく、調理がしやすい。
- 市内だからと言って特別に安い印象がない。

問16 現在、市内2か所（緑区中野・中央区青葉）において、農産物直売所の開設が進められています。

あなたが、農産物直売所に求める商品は何ですか。（回答3つまで）

1 野菜	6 漬物	11 卵
2 果物	7 菓子	12 鮮魚
3 米	8 飲物	13 伝統食（酒饅頭、おやきなど）
4 花・植木	9 畜産品	14 その他
5 惣菜	10 乳製品	

選択肢	回答数	回答分布
1	130	92.9%
2	91	65.0%
3	13	9.3%
4	25	17.9%
5	10	7.1%
6	11	7.9%
7	6	4.3%
8	2	1.4%
9	15	10.7%
10	6	4.3%
11	34	24.3%
12	8	5.7%
13	21	15.0%
14	3	2.1%
無回答	3	2.1%



☆ 農産物直売所に求める商品の上位3項目は、「野菜」が92.9%で最も多く、次いで「果物」が65.0%、「卵」が24.3%という結果となりました。

問16 「14 その他」記入欄意見 抜粋

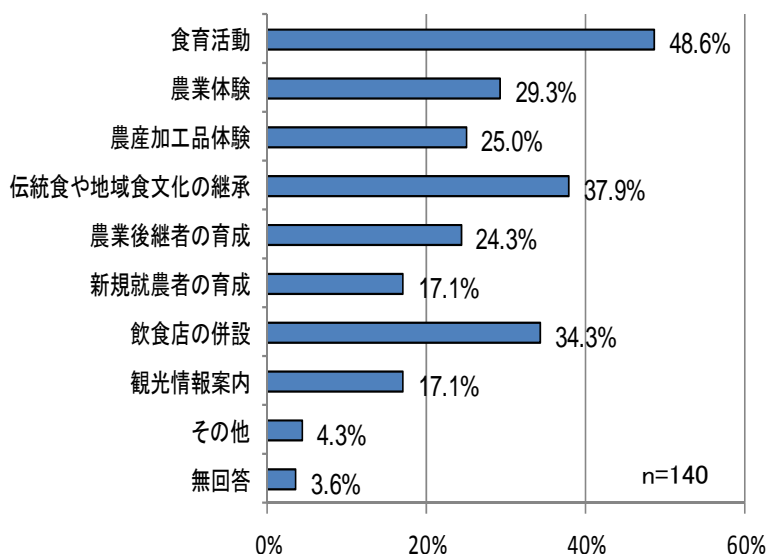
- 農産物に限らず、アンテナショップみたいにしてもいいと思う。
- 選択肢にある品目が全て揃う販売所を設けるべき。

問17 あなたが、農産物販売の他に農産物直売所に求めることは何ですか。(回答3つまで)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 食育活動※ | 6 新規就農者の育成 |
| 2 農業体験 | 7 飲食店の併設 |
| 3 農産加工品体験 | 8 観光情報案内 |
| 4 伝統食や地域食文化の継承 | 9 その他 |
| 5 農業後継者の育成 | |

※食育とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

選択肢	回答数	回答分布
1	68	48.6%
2	41	29.3%
3	35	25.0%
4	53	37.9%
5	34	24.3%
6	24	17.1%
7	48	34.3%
8	24	17.1%
9	6	4.3%
無回答	5	3.6%



☆ 農産物販売の他に農産物直売所に求めることの上位3項目は、「食育活動」が48.6%で最も多く、次いで「伝統食や地域食文化の継承」が37.9%、「飲食店の併設」が34.3%という結果となりました。

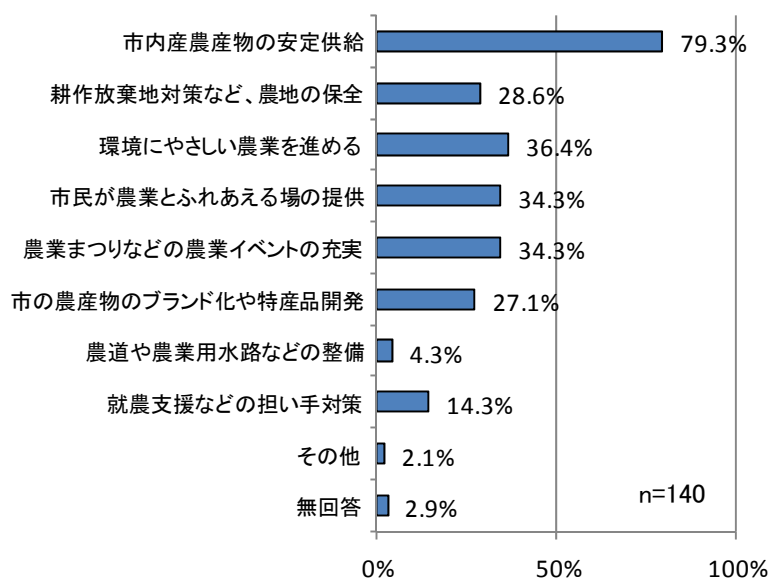
問17 「9 その他」記入欄意見 抜粋

- 野菜の保存方法や料理方法の説明、旬の食材の説明。
- 子供が体験できるイベント。
- 農薬の使用など安全性についての情報。

問18 あなたが、本市の農業施策に期待するものは何ですか。(回答は3つまで)

- 1 安全・安心な市内産農産物の安定供給（地産地消の推進）
- 2 耕作放棄地対策など、農地の保全
- 3 減農薬などの環境にやさしい農業を進める
- 4 市民農園や収穫体験などとおして、市民が農業とふれあえる場の提供
- 5 農業まつりなどの農業イベントの充実
- 6 市の農産物のブランド化や特産品開発
- 7 農道や農業用水路などの整備
- 8 就農支援や企業の農業参入などの担い手対策
- 9 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	111	79.3%
2	40	28.6%
3	51	36.4%
4	48	34.3%
5	48	34.3%
6	38	27.1%
7	6	4.3%
8	20	14.3%
9	3	2.1%
無回答	4	2.9%



☆ 本市の農業施策に期待することの上位3項目は、「安全・安心な市内産農産物の安定供給」が79.3%で最も多く、次いで「減農薬などの環境にやさしい農業を進める」が36.4%、「市民農園や収穫体験などとおして、市民が農業とふれあえる場の提供」、「農業まつりなどの農業イベントの充実」が34.3%で同数という結果となりました。

問18 「9 その他」記入欄意見 抜粋

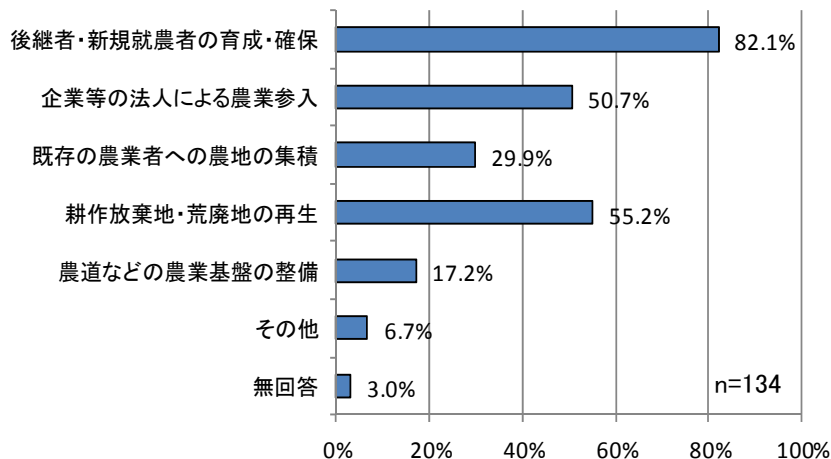
- 道の駅を作り、市内産の野菜を販売する。
- 市内産の農畜産物を使ったレストランやスイーツを作り、有名にしていく。
- 施策の推進にメディアの力を活用する。

問20-1 問20で「1 必要である」、「2 どちらかといえば必要である」とお答えの方にお伺いします。

あなたは、どのようにしたら農地を保全できると思いますか。(回答は3つまで)

- 1 農業後継者・新規就農者の育成・確保
- 2 企業等の法人による農業参入
- 3 既存の農業者への農地の集積
- 4 耕作放棄地・荒廃地の再生
- 5 農道・水路などの農業基盤の整備
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	110	82.1%
2	68	50.7%
3	40	29.9%
4	74	55.2%
5	23	17.2%
6	9	6.7%
無回答	4	3.0%



☆ どのように農地の保全をしていくかの上位3項目は、「農業後継者・新規就農者の育成・確保」が82.1%で最も多く、次いで「耕作放棄地・荒廃地の再生」が55.2%、「企業等の法人による農業参入」が50.7%という結果となりました。

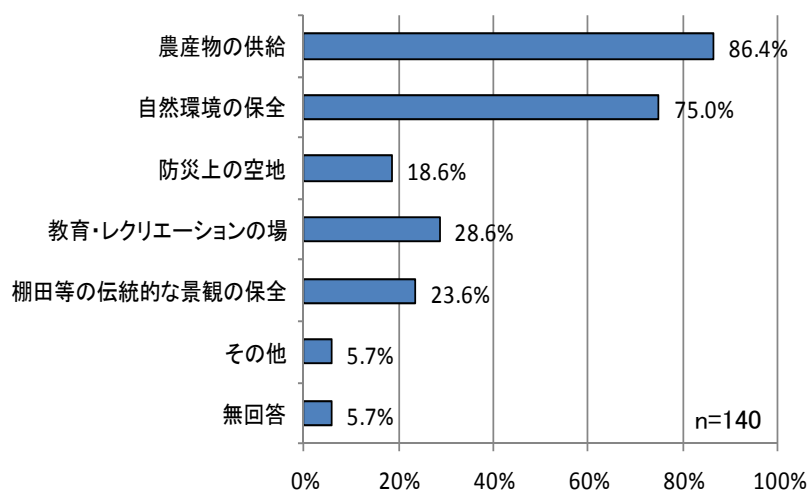
問20-1 「6 その他」記入欄意見 抜粋

- 市が積極的に耕作放棄地等を借り上げるか、又は放棄地の土地所有者の間に入り、家庭菜園の希望者を募るなど、少しでも多く休眠地を利用する事を考えるべき。
- 市の野菜を市内のチェーン店等に置いてもらう。
- 田舎で暮らしたい若者や夫婦に安く家と農地を貸し出し、短期間の農業体験をしてもらう。

問21 あなたが、農地の役割で重要と考えることはどのようなことですか。(回答は3つまで)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 農産物の供給 | 4 教育・レクリエーションの場 |
| 2 自然環境の保全 | 5 棚田等の伝統的な景観の保全 |
| 3 防災上の空地 | 6 その他 |

選択肢	回答数	回答分布
1	121	86.4%
2	105	75.0%
3	26	18.6%
4	40	28.6%
5	33	23.6%
6	8	5.7%
無回答	8	5.7%



☆ 農地の役割で重要と考えることの上位3項目は、「農産物の供給」が86.4%で最も多く、次いで「自然環境の保全」が75.0%、「教育・レクリエーションの場」が28.6%という結果となりました。

問21 「6 その他」記入欄意見 抜粋

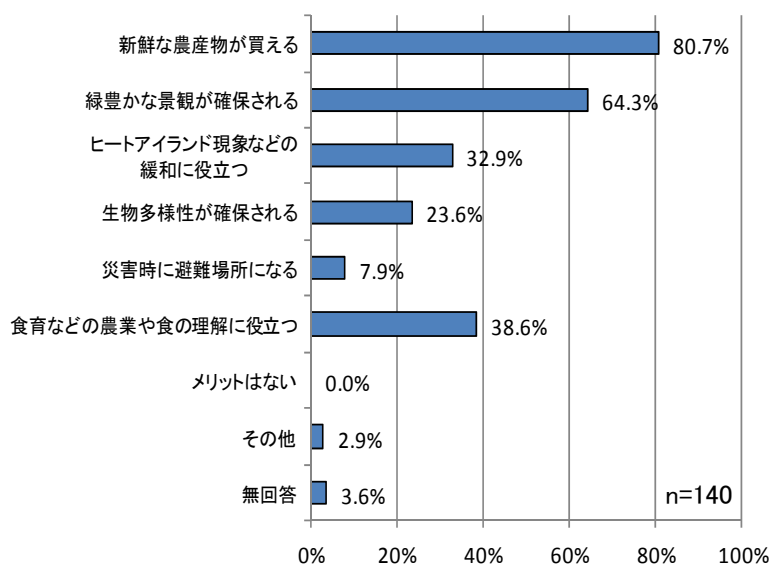
- 農業における技能、知識の次期世代への継承と継続。
- 旬の野菜を目にして季節感を養い、同時に味わう喜び等を子供達に伝えていく。
- 農産物の自給率を上げる。輸入に頼らない。
- 遊ばせている荒地も見受けられるので、企業等に貸し出し、農地として活用してもらおう。(農地提携したいレストラン等)
- 自給率の維持という観点から「安全保障」。

問22 あなたは、市内に農地があることによって、どのようなメリットがあると考えますか。

(回答は3つまで)

- 1 新鮮な農産物が買える
- 2 緑豊かな景観が確保される
- 3 ヒートアイランド現象などの緩和に役立つ
- 4 生物多様性が確保される
- 5 災害時に避難場所になる
- 6 食育などの農業や食の理解に役立つ
- 7 メリットはない
- 8 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	113	80.7%
2	90	64.3%
3	46	32.9%
4	33	23.6%
5	11	7.9%
6	54	38.6%
7	0	0.0%
8	4	2.9%
無回答	5	3.6%



☆ 市内に農地があることによって考えられるメリットの上位3項目は、「新鮮な農産物が買える」が80.7%で最も多く、次いで「緑豊かな景観が確保される」が64.3%、「食育などの農業や食の理解に役立つ」が38.6%という結果となりました。

問22 「8 その他」記入欄意見 抜粋

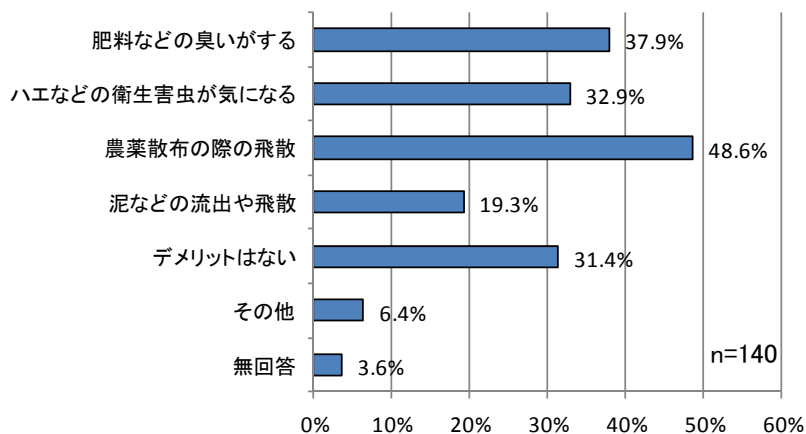
- 自宅の近くに農地があると、旬の物をいただける。
- 自ら農業を体験することにより、農業者や農産物への理解を得られる。
- 以前、農園で栗拾いをしたことがある。身近に観光農園があれば、色々楽しめる。

問23 あなたは、市内に農地があることによって、どのようなデメリットがあると考えますか。

(回答は3つまで)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 肥料などの臭いがする | 4 泥などの流出や飛散 |
| 2 ハエなどの衛生害虫が気になる | 5 デメリットはない |
| 3 農薬散布の際の飛散 | 6 その他 |

選択肢	回答数	回答分布
1	53	37.9%
2	46	32.9%
3	68	48.6%
4	27	19.3%
5	44	31.4%
6	9	6.4%
無回答	5	3.6%



☆ 市内に農地があることによって考えられるデメリットの上位3項目は、「農薬散布の際の飛散」が48.6%で最も多く、次いで「肥料などの臭いがする」が37.9%、「ハエなどの衛生害虫が気になる」が32.9%という結果となりました。

問23 「6 その他」記入欄意見 抜粋

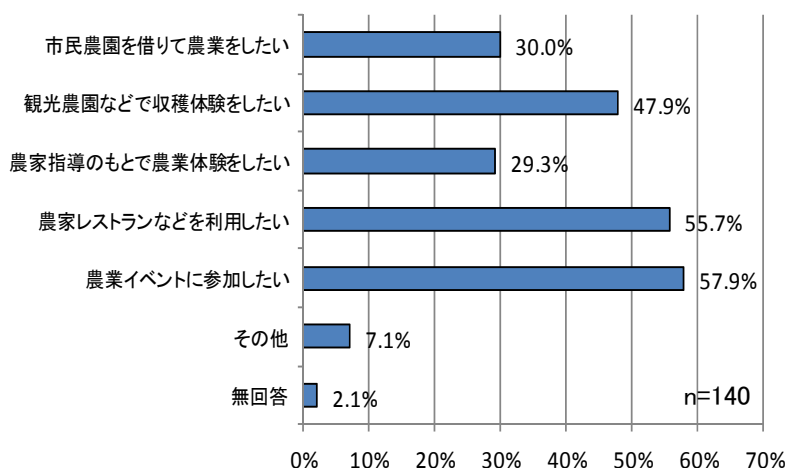
- 農具の音が周りに響き渡る。
- 砂埃が困る。
- 選択肢1～4は確かにデメリットかもしれないが、農業や農地を守るとするならば衛生上の問題は発生する。自分達の食生活を考える上では仕方のないことだと思う。

問24 あなたは、「農」にまつわる体験について、どのような体験をしたいと考えますか。

(回答は3つまで)

- 1 市民農園を借りて農業をしたい
- 2 観光農園などで収穫体験をしたい
- 3 農家指導のもとで農業体験をしたい
- 4 農家レストラン・カフェなどを利用したい
- 5 農業まつり・市民朝市などの農業イベントに参加したい
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	42	30.0%
2	67	47.9%
3	41	29.3%
4	78	55.7%
5	81	57.9%
6	10	7.1%
無回答	3	2.1%



☆ 「農」にまつわる体験について、どのような体験をしたいかの上位3項目は、「農業まつり・市民朝市などの農業イベントに参加したい」が57.9%で最も多く、次いで「農家レストランなどを利用したい」が55.7%、「観光農園などで農業体験をしたい」が47.9%という結果となりました。

問24 「6 その他」記入欄意見 抜粋

- 子供が小学校で農業体験をしているが、これからも続けてほしい。また、収穫したものを料理させたい。
- 自宅の敷地内で小さく農産物を作りたい。家庭菜園をするためのやり方を教わる講座などがあれば参加したい。

問 2 5 その他、農業施策や地産地消の推進についてご意見、ご要望などございましたらご記入ください。(回答記入欄に記入)

《市民農園・体験農園について》

<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園や体験型の農園を増やし、農業への市民の関心度を上げてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・隣の地区で市民農園があるが、住んでいる地区にはない。興味や、やってみたい気持はあるがどうしたら良いかわからない。新規の人には優先して借りられるようにしてほしい。(同じ人が何度もしているのではないかと疑問になる)。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供がいるので農業に触れさせてあげたいと思うが、素人が市民農園を借りて農業をすることは不安で、続けていくことが大変だと思う。市や県がバックアップできる体制がないと、農家も減少してしまうので、PRをしながら子供を巻き込んでイベントなどを行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業に興味はあるが、どうやって参加したら良いのかわからないので、農家の方とふれあえる機会がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に農業体験ができる場面を増やすことで、市民の関心が高まるのではないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・土にふれる時間が無いので、子供達と収穫体験をしてみたい。収穫した野菜のおいしさも料理をして教えてあげたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供にも農業に興味を持ってもらうために、子供向けの農業体験スクールなどを市で開催してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の農業体験ではあるが、時には何もできず、また、雑草との戦いに悩みながらも、自分で体験することの大切さを感じている。市民農園を広めたり、農業指導のもとでの農業体験は必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・農地を子供のふれあいの場（お芋掘り、田植え）としてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農作物を育てることは、様々なことを学ぶことができ、ステキな体験だと思うが、なかなか体験することは難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園、幼稚園、小・中学校、高校での農業体験の実施、市と企業とが連携し、耕作放棄地の有効活用を行う、もしくは学校等に貸出してはどうかと思う。

《地産地消について》

<ul style="list-style-type: none"> ・メリット、デメリットあると思いますが、農業をこれから盛んにしていく必要がある。地産地消めざして是非農業政策を推進していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を推進するのであれば、地元スーパーに置いてもらえるよう行政から働きかけるようにすればいいと思う。相模原は農産地というイメージがないし、野菜だと千葉とか茨城の方がおいしそうな感じがするので、あまり買いたいと思わない。都心で流行っている、マルシェ（おしゃれな市場）のようなものを駅前などでやって、若い人も混ざって新鮮な野菜の販売、地産野菜で作ったピザやスムージーの販売をしたら、楽しいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・人が生きていくための地産地消活動は食物連鎖の原型と思われるので、子供達にも伝えられたらと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誰もが「これは相模原の特産だ！」と思える生産物を明確にして、生産者も消費者も地産地消に努める動機が高まる施策を実施するべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・緑区の豊かな自然や土地を有効活用し、積極的に地産地消を推進してほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・地産の野菜等を見かけたらなるべく購入しているが、スーパー等に地産の商品が少ないので、流通させてもらいたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消、農業施策についてのPRを拡大してほしい。楽しい、美味しい収穫行事がやっていたんだと後でわかることが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の重要性と食育の必要性とを広く住民に認識させ、その意義を啓発させることが望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等では他地区からの野菜が安く売られているので、つい購入してしまう。地産地消はわかるが、価格の点で手が出ない時があるので、悩ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消にはスーパー等との連携も必要だと思う。また、子育て世代からすると、農園レストランやカフェのアイデアはとても良いと思う。子供が野菜を好きになる様な美味しいレストランがあると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・見映えにとらわれず、減農薬の野菜などが地元で生産されていく環境が整うことを希望する。
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで買い物をしていると、北海道から九州、外国まで、色々な地域から仕入れていることがわかる。もしこれが全て神奈川県産のものだったら、私だけでなく多くの方が喜ぶと思う。輸送による環境破壊や高速道路の渋滞の解消、新鮮な野菜や果物等を購入できる等、メリットが大きいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消という言葉は学校で勉強している。しかし、市内の野菜や特産品に巡り会わない。「さがみはらのめぐみ」については、市HPで見たことがあるが、内容がいまいちだった。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消というのは大切だと感じた。市内の商業施設で相模原のものをアピールしてほしいです。子供をターゲットにしてみてもいいかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの相模原産野菜コーナーでよく購入しているが、品質の悪いものが置いてある時がある。もう少し努力していただければ、もっと需要が有ると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと市としてアピールしてほしい。買える場所や時間帯を広げてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の製品は生産者の名前が記入してあり、信頼感があるように思う。できれば、住所、電話番号などの情報も記載してもらえれば、もっと購買意欲が増すと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・親戚が農地を持っているため、よくある野菜は地産地消できていると思う。そのため、珍しい食品の販売や農家レストランを備えたスポットがあると、足を運ぶかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消などを推進するのならば、農業イベント情報を広報紙などに掲載したりするだけでなく、露地栽培の販売や季節の産物などももっとPRすると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・近所のスーパーやコンビニで、価格も安く売っているのであれば市内産を買うと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝市とかに行かなくても、もっと身近に地元の野菜が購入できるといいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・価格も安く、安心できるものを作ってほしい。農業は本当に大変な仕事だが収穫の喜びもあると思うので、頑張してほしい。

《農産物直売所について》

<ul style="list-style-type: none"> ・身近に農業の素晴らしさ大切さを感じさせる施策を期待する。例えば、今年度、農産物直売所を2か所増設する計画だそうですが、地域の農協と連携し、市内全域に設置してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・直売所は車がないと行けないところに多い気がする。駅前など車を持っていない人でも行ける場所に設置してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農作物直売所の開設を心待ちしている。「広報さがみはら」等で大々的にPRをお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農作物直売マップなどがあると、どこで販売しているのかがわかる。

<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を開設してほしい（地域の農産物、特産品等の販売）。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の野菜等の販売所を、市内の各所に設けるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市の直売所を利用したい気持はやまやまですが、緑区と中央区の2か所に設置とのこと。せめて各まちづくりセンターで朝市をやるとか、工夫しないと実際には利用できないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元で農産物直売という看板を見かけるが、朝8時～夕方5時に開店しているようで、仕事をしていると利用できない。営業時間を拡大してほしい。

《各種イベントについて》

<ul style="list-style-type: none"> ・相模原の農業に関する知識が相模原に住んでいても、ほとんどありません。市のイベントなどを通じて知る機会があればいいのかもしれませんが。また、農協の有効活用で、最寄りの農協で食育などのイベントの機会を期待します。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供向けの農業体験、収穫体験のイベントを開催してほしい。子供は自分が収穫すると野菜に興味を持ち、よく食べるようになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・比較的規模の小さい地域での朝市の開催。
<ul style="list-style-type: none"> ・北公園で開かれるオータムフェアやアジサイフェアなどのイベントももっと出展者を多くし、種類を増やすと賑やかになると思うし、活発になると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・先日、相原高校の文化祭に行ったところ、高校の敷地内で家畜を飼育していることを初めて知った。そういった施設や環境があるならば、市民にも携われるようにしても良いのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・津久井地域は休日になると毎回込み合うほどの車の行列ができる。こんなに観光客が通るのに、何も無いのはもったいない。市の野菜や水などアピールしつつ、レストランや市場、イベント会場などをつくり、人々を呼んでもらいたい。

【その他】

<ul style="list-style-type: none"> ・農業への企業の参入を加速してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足により農地が宅地や駐車場に代わっていくことを防ぐため、既存の農業者への農地の集積を行い、農協などが主体となって集団経営で農業を行ったり、企業等の法人による農業参入を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を防ぐため、屋内での農作物の育成も推進し、大手食品業界との提携により、消費の拡大を図り、価格を安定化させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業債などを発行し、農業への投資を市民から広く募る。
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原が「農」の地域とはあまり感じられない。自宅周辺にも農地があり、野菜を栽培しているが、収穫した品物をどういう流通経路でさばっているのか知らない。畑がアパートや幼稚園になっていくのを見ると早く、企業法人による農業化をしないと、個人での継承は無理と思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・農地も限られ、後継ぎ問題等あると思うが、特産品は推進してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手の育成にも力をいれて頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「ポーノ相模大野」内の<サガミックス>で取扱う生産品種類のジャンルを広くしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市にはすばらしい農地があり、すばらしい農産物がある。この農産物を使った加工物など、名物ができたら良いと思う。また、未来の子供達のためにも、自然環境を守るためにも大切な農地を残して行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原は肥沃な土地だと聞いているが、農業の宣伝がほとんど目に入らない。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業を市民に広めることが大切だと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・農地の所有者が高齢化などで休耕田になった場合は、所有者がそのままにしているのを行政は傍観しているのではなく、行政や地域から積極的に働きかけ、レンタルの家庭菜園用にするなどして農地を常に有効活用になるようにするべき。高齢化の場合はそういうアイデアも無いだろうから行政や地域が働きかけないといけない。経営管理は名乗りを上げた企業がしても良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料自給率が減少しているので、農業は非常に重要であると思う。また、輸入品の農産物は残留農薬などが含まれているものも多いと思うので、やはり安全な食べ物を食べたいと思う。市民朝市にたまに行くが、産地や生産者が分かりとても安心できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・農産物を輸入に頼ることによる安全性への危惧。そして、自然災害等で輸入のできなくなった時の物価の高騰の心配。農業をしてみたい人の人口は多い、自然と共により豊かに生き、安全な食を求め続けることが出来るよう遊休地の活用をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・散歩中、5匹の鶉の子どもが道から植樹をしている垣の中に入っていくのをみた。生物の生育にも農業や緑地は必要だ。
<ul style="list-style-type: none"> ・市内には農地も多く見られ、多種多様な農産物を生産しているので、今後も安定供給ができるように農業生産者の方への支援を継続してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・今の子ども達は、食べ物はスーパーでなんでも購入できていると思っている。野菜やお米の生育過程、それに従事する人たちの労働の貴さを教えることは大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・人間は、生を受けた所（土地）の物を取り（食べ）入れて生きて行く事が、理にかなっている生物だと思う。生活を営んでいる土地の物を食する事が、健康を維持するうえで大切である事を積極的に啓発していくべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・農地がどんどん宅地に変わって行く様子が日々見られる。地域の新鮮で安全な農作物が維持できる様な仕組みがあれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県は全国でも自給率が低かったと思う。水豊富、耕作可能な土地も豊富だが、農業専門者は全国でも少ないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・初心者にわかりやすい農業育成をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・近所に畑があり、景観的にも気に入っている。土と触れ合うことは、人間の本能を刺激する良いことだと思う。農業に対する市民の理解を得る為にも定期的なPR等は必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の農家の持続、また、休耕畑等の利用により、さらに市内の農作物が増え、市場に回ることを願っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率 40%をせめて 50%台まで向上できるように、行政や供給者、消費者ともに知恵を出し合い、努力していかなければならない。TPP交渉が政府主導で進んでいるが、生産者・消費市場にどう影響するのかが、気になっている。食物の生産地イコール消費地は理想の形態ですが。生産者も消費者も、価格競争だけでなく付加価値のあるものを作り、選択すべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人も興味を持てるしくみづくりがあるといいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の助成による農業の基盤整備（農道、水路等の整備及び耕作放棄地等の再生）の推進をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業特区のようなものの構築が必要であると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・薬害を防ぐ方策を考案し、食の安全化を図ってほしい。